

長野県感染症情報（2017年（平成29年）第37週） （2017年9月11日～2017年9月17日）

2017年（平成29年）9月20日
 長野県健康福祉部保健・疾病対策課感染症対策係
 （課長）西垣明子（担当）山崎千速 笠原ひとみ
 026-235-7148(直) 026-232-0111(代)内線2640
 026-235-7170(FAX)
 Email hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp

●全数把握感染症

腸管出血性大腸菌は、少量の菌数(100個程度)でも感染します。ヒトからヒト、あるいは食品を介して感染が拡大する傾向があります。手洗いの励行や、食品の加熱処理を徹底するとともに、家庭内や施設内で患者が発生した場合は、二次感染を防止するための対策が重要です。

●定点把握感染症

手足口病の届出数は減少傾向にありますが、しばらくの間は流行が続くと思われますので、手洗いの励行、タオルの共有を避けるなど、感染予防を心がけてください。

RSウイルス感染症の届出数は例年より早いペースで増加傾向を示しており、今後の動向に注意が必要です。

長野県感染症情報トピックスー 腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

<http://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/topics.html>

RSウイルス感染症に関するQ&A(厚生労働省)

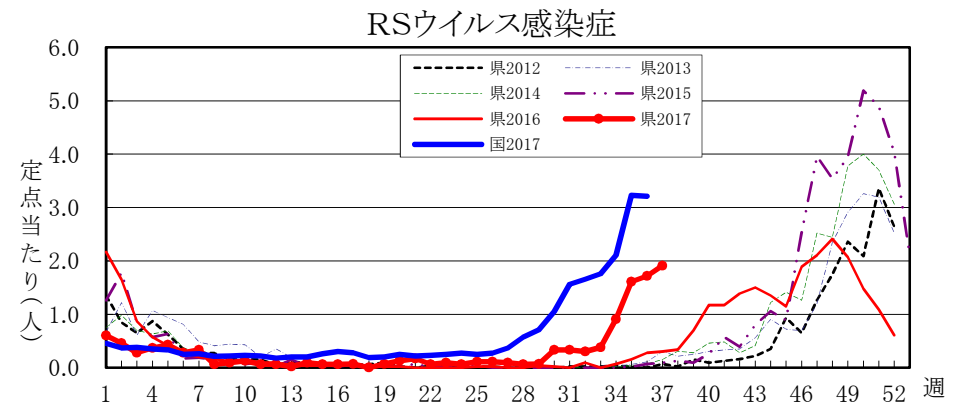
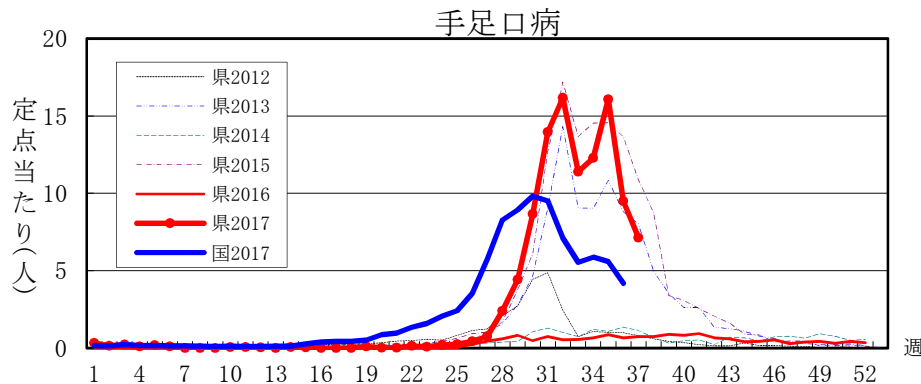
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

全数把握感染症届出状況

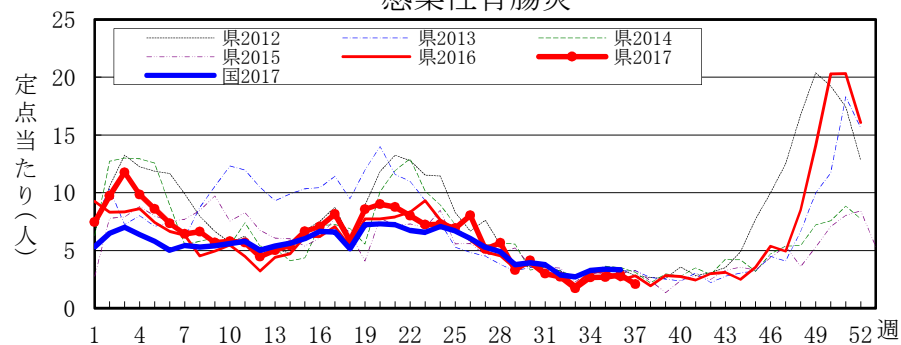
一類感染症	なし
二類感染症	結核 2例、潜在性結核 1例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 7例 (O157:1例、O26:5例、O165:1例)
四類感染症	レジオネラ症 3例、レプトスピラ症 1例
五類感染症	アメーバ赤痢1例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例、後天性免疫不全症候群2例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒2例
動物感染症	なし

定点把握感染症届出状況

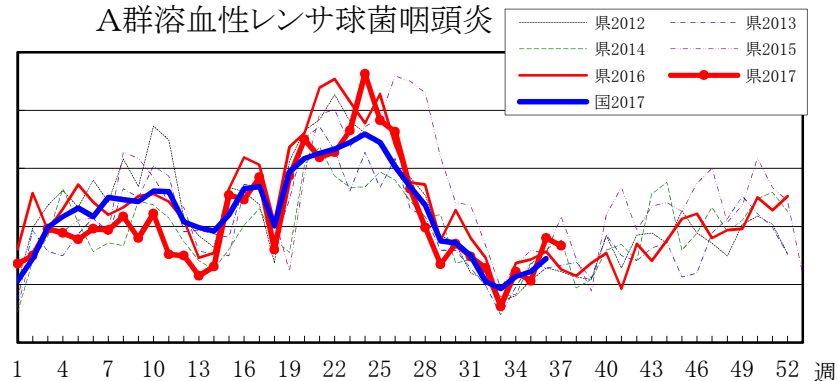
感染症名	今週	1週前	2週前
1 手足口病	7.13	9.50	16.07
2 感染性胃腸炎	2.07	2.87	2.70
3 RSウイルス感染症	1.91	1.72	1.61
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.67	1.80	1.06
5 流行性耳下腺炎	1.19	0.81	1.43



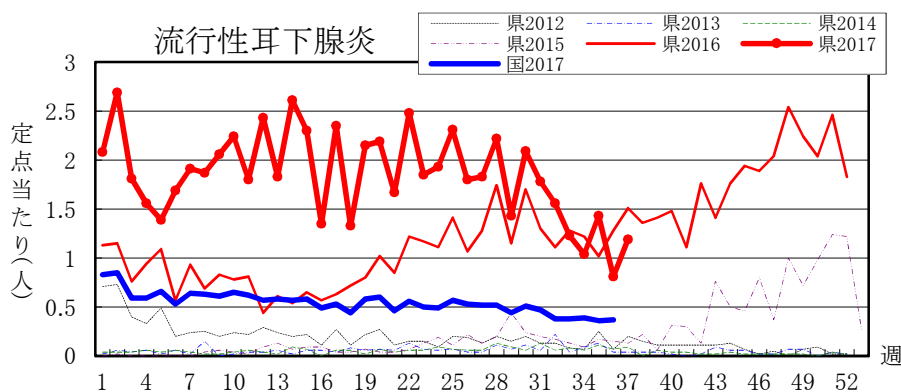
感染性胃腸炎



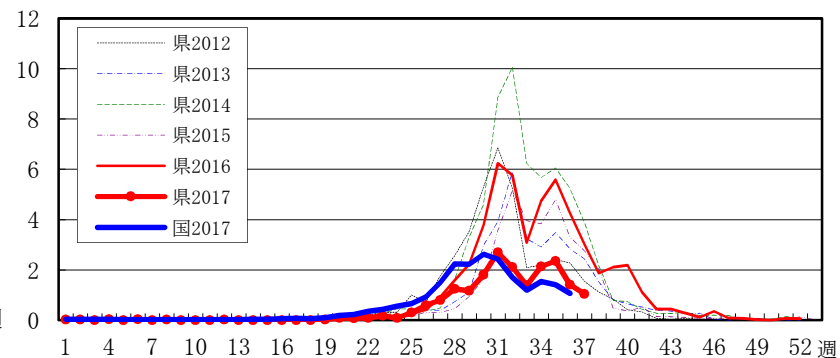
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



流行性耳下腺炎

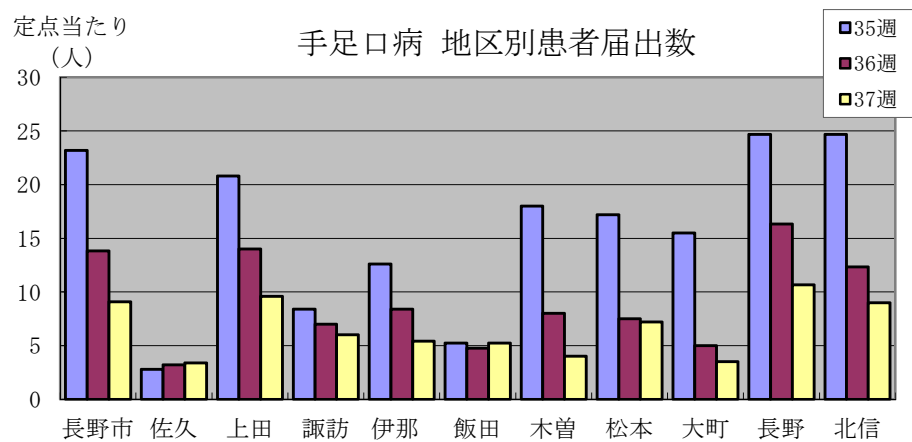


ヘルパンギーナ



定点当たり
(人)

手足口病 地区別患者届出数



定点当たり
(人)

RSウイルス感染症地区別患者届出数

